

令和7年度 第1回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- I 日時：令和7年7月4日（金） 15：30～17：00
- II 会場：高志館1階研修室
- III 出席者：〔評議員〕 有賀 泰司（義務教育関係） 竹田 謙一（大学関係）
傳田 智子（上伊那広域連合） 福沢 勉（自治会関係）
松井 秀之（企業関係） 岩崎 靖（同窓会関係）
寺澤 美智代（保護者）
- 〔職員〕 校長 教頭 事務長 朝倉（教務） 倉石（進路・学校評価）
半場（生徒指導） 伊東（特別支援） 黒岩（CPA）
松村（PTA） 入戸（職場代表 欠席）
- IV 次第：（司会：教頭）
- 1 委嘱状交付
 - 2 学校長挨拶
 - 3 自己紹介
 - 4 本校の概況について
 - (1) 学習、進路指導（倉石）
 - (2) 生徒指導（半場）
 - (3) 特別支援教育（伊東）
 - (4) 学校評価（半場）
 - (5) CPA（黒岩）
 - (6) PTA（松村）
 - (7) その他（千葉）
 - 5 意見交換
 - 6 学校長挨拶

1 意見交換で出された質問・意見等のまとめ

（1）学校教育全般について

○普段から、学校の指導、援助が手厚いと感じている。それに応えている生徒も多いと思うが、あくまでも本人次第である。

○ペン祭は準備期間が短く大変であったと思うが、当日は大変賑わっていた。これからもペン祭を始めとした各種行事を大切にしてもらいたい。

○地域との連携について

・上伊那地域においては早い段階から地域と関わりのある活動が進められている。伊那北の卒業生にも地域との関わりを持ち続けている生徒がいる（増えている）のは嬉しいこと。

・生徒への助成金の制度もある。困っていることは共有させてもらい、ともに取り組んでいきたい。

・地域の大切さを学校からも伝えていってほしい。

○生徒の海外研修について、高額な費用がネックになる。視野を広げるためにも県からの支援（資金援助）があるとよい。

(2) 学習・進路指導について

- 授業を参観させてもらいICTを使った授業、GWを取り入れた授業等、どの授業にも生徒たちが熱心に臨んでいた。
- 昨年度、医学部への進学実績があり安心した。
- 進路は、生徒・学校・家庭がうまくかかわって決定していけるようにしてほしい。

(3) 生徒指導及び基本的な生活習慣について

- 通学時の学校周辺道路における送迎、生徒の行動について指導してもらっているのは承知しているが、区民の思いも認識をしておいてもらいたい。
→引き続き生徒・保護者への声掛けをしていく。

(4) 再編・統合について

- 統合に向けた工事については、心配もあるが説明してもらったことで安心した部分もある。
- 中学1年生以下の子ども達にとって、良かったと言える統合にしてほしい。

(5) その他

- “ハラスメント”(不祥事)が起こらないようにしてほしい。
- 教職員の勤務実態を踏まえ、超過勤務の解消、負担軽減に向け学校全体で取り組んでほしい。
- 同窓生の来校時の丁寧な対応に感謝したい。
- 学校の東門につながる通学路において、私有地のニセアカシアが倒れかかっている。生徒の安全確保の観点から、資金面や地権者との対応等で山寺区にも力添えをお願いしたい。